

常磐自動車道

谷和原管理事務所管内はく落対策設計

特記仕様書

令和6年4月

東日本高速道路株式会社 関東支社
谷和原管理事務所

目次

章・項目番号	名称	頁
第1章	総則	
1－1	調査等概要	1
1－2	適用する共通仕様書	1
1－3	管理技術者の資格要件	1
1－4	照査技術者の資格要件	1
1－5	資料の貸与	1
1－6	発注者または監督員が行う協議	2
1－7	計画工程表	3
1－8	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1－9	工事記録情報の作成及び提出について	5
1－10	三者協議会について	5
第2章	業務細部に関する事項	
2－1	業務の内容	6
2－2	現地踏査	6
2－3	はく落対策設計	6
2－4	落橋防止構造物設計	7
2－5	施工計画検討	7
2－6	設計打合せ	8
2－7	成果品	8
第3章	補足事項	
3－1	設計図書の変更及び追加について	9

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 常磐自動車道 谷和原管理事務所管内はく落対策設計

1-1-2 路線名 常磐自動車道

1-1-3 履行箇所 常磐自動車道

自) 埼玉県三郷市番匠免 (K P 0.0)

至) 茨城県小美玉市大谷 (K P 60.9)

1-1-4 主な履行内容

項 目	数量	対象構造物名
現地踏査	1 式	三郷 IC B ランプ橋
詳細図作成	188 枚	後谷橋
図面修正	20 枚	下花輪高架橋
落橋防止構造物設計	1 箇所	三輪野江橋
施工計画検討	10 箇所	江戸川高架橋
設計打合せ	1 式	今上川橋
		中村西根橋
		飯田橋
		園部川橋
		半地下区間 (柏 I C ~ 三郷 I C 間)

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和5年7月版とする。

1-3 管理技術者の資格要件

共通仕様書1-7-1「管理技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告(説明書)に示すとおりとする。

1-4 照査技術者の資格要件

共通仕様書1-9-2「照査技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告(説明書)に示す通りとする。

1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
橋梁完成図	—	契約締結後貸与	電子データ (PDF)
管理用平面図	—	契約締結後貸与	電子データ (CAD)
航空写真	—	契約締結後貸与	電子データ (PDF)
配管・配線図	—	契約締結後貸与	電子データ (PDF)
点検報告書	—	契約締結後貸与	電子データ (PDF及びExcelデータ)

1-6 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 に従って行う協議以外である。
また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位 置	交差道路	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期等
三郷 IC B ランプ橋	市道	三郷市役所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
後谷橋	県道	埼玉県県土整備事務所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
下花輪高架橋	市道	流山市役所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
三輪野江橋	市道	三郷市役所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
江戸川高架橋	市道	吉川市役所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
今上川橋	河川用通路	東葛飾土木事務所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
中村西根橋	県道	土浦土木事務所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
飯田橋	県道	土浦土木事務所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月
園部川橋	市道	石岡市	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月

(2) 河川・水路関係

位 置	河川・水路名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期等
今上川橋	今上落川橋	東葛飾土木事務所	施工時制約	令和 6 年 7 月～8 月

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1 4-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、及び共通仕様書 1-2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種 別	工 種	対象構造物名
現地踏査	—	三郷 IC B ランプ橋 後谷橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 園部川橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC 間）
詳細図作成	詳細図作成 A	三郷 IC B ランプ橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC 間）
	詳細図作成 B	三郷 IC B ランプ橋 江戸川高架橋 今上川橋 飯田橋
	詳細図作成 C	三郷 IC B ランプ橋 後谷橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC 間）

図面修正	図面修正 A	三郷 IC B ランプ橋 後谷橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC間）
落橋防止構造物設計	—	園部川橋
施工計画検討	—	三郷 IC B ランプ橋 後谷橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 園部川橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC間）
設計打合せ	—	三郷 IC B ランプ橋 後谷橋 下花輪高架橋 三輪野江橋 江戸川高架橋 今上川橋 中村西根橋 飯田橋 園部川橋 半地下区間（柏 IC～三郷 IC間）

1－7－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－9 工事記録情報の作成及び提出について

（１）共通仕様書 1－4 3－1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は平成 18 年 10 月版とする。

（２）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（３）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1－10 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において、監督員及び受注者並びに予定工事の請負人が協働して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協働連絡会議（以下「三者協議会」という。）」を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員、予定工事の請負人および受注者との間で協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定する協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会の参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、谷和原管理事務所管内の常磐自動車道（三郷JCT～石岡小美玉SIC）の橋梁について「設計要領第二集（橋梁保全編）」及び監督員から貸与された点検結果等の電子データに基づき、はく落対策設計等及び当該現地条件において施工性、経済性の観点から補修方法を検討し、工事の発注に必要な図面作成、数量算出、施工計画検討を行うものである。また設計にあたっては、共通仕様書第5章「設計」及び第7章「維持修繕設計」の適合項目を適用する。

2-2 現地踏査

受注者は、契約締結後、貸与する既存資料を確認したうえで現地を踏査し、本設計に必要な現地の状況を把握しなければならない。

なお、現地踏査は地上若しくは橋梁検査路を使用して行うものとするが、現地条件等により足場や交通規制が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

現地踏査の検測数量は、一式とする。

2-3 はく落対策設計

2-3-1 詳細図作成

詳細図作成とは、対象橋梁及び橋梁附属物等の工事を行うために必要な図面作成を行い、「土木設計数量算出要領（令和5年度版）」（以下「数量算出要領」という。）に基づき数量算出を行うことをいう。

なお、補修詳細図作成において、応力、耐荷性能等の照査のための解析等を行わない。ただし、補修工法の立案に必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

詳細図作成の種別及び設計内容は次のとおりとし、検測数量は作成した図面数量（枚）とする。

設計区分	単位	数量	設計内容	備考
詳細図作成 A	枚	29	はく落補修一般図	附帯工設計 詳細図作成等 作成難易度：簡単
	枚	11	はく落対策工詳細図 交差部	
詳細図作成 B	枚	7	補修詳細図 (鋼部材の減厚、劣化 等)	附帯工設計 詳細図作成等 作成難易度：複雑

詳細図作成 C	枚	52	補修詳細図 断面修復等	附帯工設計 詳細図作成等 設計協議説明図作成 作成難易度：複雑
	枚	13	補修詳細図 橋梁排水装置	
	枚	11	補修詳細図 支承	
	枚	3	補修詳細図 検査路	
	枚	31	仮設計画図	
	枚	31	はく落詳細図交差部 以外	

2-3-2 図面修正

図面修正とは、対象橋梁の工事を行うために、本設計業務で作成したCAD図面を用いて修正を行うことをいう。また、図面修正に併せて、数量算出要領に基づき数量修正も行うものとする。

図面修正の検測数量は、作成した図面の枚数（枚）とする。

設計区分	単位	数量	設計内容	図面修正率	図面の区分	備考
図面修正 A	枚	20	水抜き対策工 詳細図	10%未満	比較的 簡易な図面	

2-4 落橋防止構造物設計

落橋防止構造物設計とは、対象橋梁に設置されている耐震連結装置の取替をするために構造計算、必要に応じた図面を作成することをいう。

落橋防止構造物設計の種別及び設計内容は次のとおりとし、検測数量は箇所（箇所）とする。

設計区分	単位	数量	設計内容	備考
落橋防止構 造物設計	箇所	1	構造計算・詳細図作成	園部川橋 下り線 A2橋台 G5・G6桁

2-5 施工計画検討

施工計画検討とは、現地踏査の結果及び構造物補修検討結果を基に、対象橋梁の補修に関する足場計画等を立案することをいう。

施工計画は、供用路線等への影響を考慮し検討を行うものとし、既設構造物の撤去方法、仮設工、施工ステップ等の図面作成について、監督員と協議し作成するものとする。

施工計画検討の検測数量は、検討を行った箇所数（箇所）とする。

対象橋梁	単位	数量	地形条件による区分	備考
三郷 IC B ランプ橋	箇所	1	平地	
後谷橋	箇所	1	平地	
下花輪高架橋	箇所	1	平地	
三輪野江橋	箇所	1	平地	
江戸川高架橋	箇所	1	平地	
今上川橋	箇所	1	平地	
中村西根橋	箇所	1	平地	
飯田橋	箇所	1	平地	
園部川橋	箇所	1	平地	
半地下区間（柏 IC～三郷 IC間）	箇所	1	平地	

2-6 設計打合せ

設計打合せは下記のとおり行うものとする。

- （１）業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- （２）打合せ場所は、東日本高速道路株式会社関東支社谷和原管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- （３）本業務における打合せの回数は中間打合せ３回、業務内容確認検査及び完了検査の計５回とし、谷和原管理事務所で行うものとする。なお、打合せの検測数量は１式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せ費用の変更は行わないものとする。

2-7 成果品

2-7-1 提出部数

成果品の提出部数については、共通仕様書 1-45-5によらず下表のとおりとする。

工事発注時貸与用電子データとは、報告書及び図面の電子データに対して、個人情報や概算工事金額などの当該工事発注等に関係しない非公表等の情報を編纂又はマスキングを行って電子媒体を作成するものである。工事発注時貸与用電子データの作成にあたり、

編纂又はマスキングの対象箇所は監督員と協議するものとする。

項目	監督員	NEXCO 総研	工事発注時 貸与用電子データ	備考
報告書（紙）	1 部	—	—	
報告書（電子データ）	2 部	1 部	1 部	
図面（紙）	1 部	—	—	
図面（電子データ）	2 部	1 部	1 部	報告書（電子データ）と併せて提出

2-7-2 成果品一覧表

成果品は、本特記仕様書 2-6-1 の規定によるものとし、その一覧は下表のとおりとする。また、報告書の表紙は、黒色とし、金文字製本とする。

成果品項目	出力時の縮尺 (分の 1)	出力用紙の 大きさ	提出部数	備考
橋 梁 位 置 図	共通仕様書 5-7-7 詳細設計による	A3	1	
はく落補修一般図	適宜	A3	1	
はく落対策工詳細図	適宜	A3	1	
補修詳細図	適宜	A3	1	
その他図面	適宜	A3	1	
設計計算書	—	A4	1	製本
数量計算書	—	A4	1	製本
施工計画書	—	A4	1	製本

第 3 章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加について

次に示す事項については、関連する設計内容を変更する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。

- (1) 施工に際し必要となる工事用進入路の図面作成及び数量算出
- (2) 施工に際し不要または支障となる橋梁付属物の撤去、移設、再設置のための図面作成及び数量算出
- (3) 設計箇所の追加